

音楽が記憶力に及ぼす影響について

エコロジー：工藤啓明 田中涼子 桑原彩花 平林駿

私たちは、普段カフェや図書館などで目にする「音楽を聴きながら勉強する」という行為に対して、「音楽を聴きながら勉強すると、記憶力は向上するのだろうか」という問題意識を抱き研究を行った。実験で使用する音楽は、普段日本人がよく聴く音楽が適切であると考えたため、二次データにより J-POP に決定した。そして「日本人が普段からよく聴く J-POP 音楽を聞きながら勉強すると記憶力があがる」という仮説を立て、研究を進めていくことになった。実験を行うにあたって、まず実験の手順は二次データに沿って行うことにした。また、実験で行うテストは、被験者それぞれの知識などが影響しないように、簡単な暗記テスト(野菜・果物・魚の羅列を暗記するもの)にした。実験は繰り返しありで行い、同じ被験者が一回目のテストでは音楽を流さずに暗記し、二回目のテストでは音楽を流して暗記するという手順で行った。音楽は前述の通り J-POP を使用し、その中で認知度の高い「世界に一つだけの花」を使用した。実験は北村ゼミ生 18 名、田中ゼミ生 19 名、専修大学神原ゼミ生 42 名に協力して頂いた。実験結果を分散分析にかけたところ、有意差は認められなかった。したがって私たちがたてた「日本人が普段からよく聴く J-POP 音楽を聞きながら勉強すると記憶力があがる」という仮説は棄却された

今回有意差が認められなかった原因として、普段被験者が音楽を聴きながら勉強している内容と、今回のテストでは形式が違ったことや、普段被験者が聴いている音楽と実験で使用した音楽が違うこと、普段イヤフォンで音楽を聴く場合、今回の実験とは環境が違うなどがある。また、活動自体の反省としては、グループのメンバー同士のスケジュールがうまくたてられず、予定が後ろ倒しになってしまったことや、役割分担がうまくできず効率的に研究を進められなかったことである。今後は今回の反省点をふまえ、より良い研究をしていきたい。